



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

WEEKLY REPORT

高松東ロータリークラブ 週報

会長:森 和夫 幹事:長尾 直樹



プログラムのご案内

今週

(創立第2551回) 令和04年04月12日

卓話「新入会員卓話」

友國 裕典 君

次週

(創立第2552回) 令和04年04月19日

客話「住み慣れた地域で生活を」

社会福祉法人
香川県手をつなぐ育成会(あゆみ園)
理事長 高尾 早苗 様

前週例会レポート

創立第2550回例会出席報告 令和04年04月05日

前々回の訂正	会員総数	出席免除会員
03/22 100%	44名	(a)1名 (b)8名
出席計算に用いた会員数	出席会員数	出席率
42名	34名	80.95%

会長挨拶

今日は土地家屋調査士の高橋君が入会してくれて本当にありがたいです。私の職業でもある土地家屋調査士は何をするのか。先ほど地球の半分が2万kmという話がありましたが、赤道から北極までの距離をちょうど1万キロにすることに決めたので、地球は4万kmということです。今測ると4万kmではなく、回転しているので横は少し長く、縦は短くなっています。土地家屋調査士と測量士との違いは、測量士は地理学的な測量。現物の地物を測量する。我々は目に見えない観念的な測量をする。ですから高橋君の仕事は田んぼの中に目に見えない線を引いてお金を頂く。土地の登記をされている境界ですので、ブロック塀があるとか道路の形があるとかというのは関係なく、明治20何年頃かにできた最初の境界線を現地になぞるといって仕事をしています。もともと法務省は、土地は動かないということで法整備をしてきたのですが、阪神淡路大震災のときに土地が動きまっすぐの水路がずれてどちらが境界かということが起こりました。そこでうちの業界と法務省で、直せるものは元が境界、直せないものは行った先が境界と決めました。もともと土地は動かないものということでやってきたので、阪神淡路大震災や東北の地震で、復興ができないということがありました。今は北緯・東経で境界を確定させて、水平移動しても元はここで現在はここだと分かるような手続きをしています。それをやっているのが高橋君です。私はほぼ引退していますのであまりやっていませんけど、高橋君の仕事の紹介をさせて頂きました。

報告事項です。日台ロータリー親善会議福岡大会が5月6日に福岡であります。申込み締切りが4月15日ですので行かれる方は長尾幹事に言って下さい。台湾のロータリークラブの方とリモートがあるそうです。それから国際ロータリー日本人親善朝食会がテキサスのヒューストンで6月5日にありますので行かれる方は是非。4月28日が締切りです。

以上で報告を終わります。ありがとうございました。